

森永乳業の育児ニュース **エンゼル110** レポート VOL.61 「子育て支援で、本当にしてほしいことは？」

100人のお母さんに聞きました

森永乳業は、時代とともに変わりつつある母親像の理解に役立つことを願い、1993年4月から「エンゼル110番レポート」を発行しております。この「エンゼル110番レポート」は、育児相談窓口「エンゼル110番」への相談内容から、毎回育児に関する傾向についてまとめています。

「エンゼル110番」は、「子育て奮闘中のママたちのために何かお役に立てることは…」と考え、1975年5月に開設した無料の育児相談窓口です。

今年6月に「子ども手当」の初回支給が実施され、公約の半額にあたる月額1万3000円が支給されました。当初より、財源の確保の問題や子ども手当の財源を他の子育て支援策にまわすべきといった声も多く聞かれています。今回は、そんな中で「子ども手当」を支給されたママたちがどのように感じているのか、本音を聞いてみました。

【主なアンケート結果】

1. 「子ども手当」が支給されて、「よかった」「嬉しい」と積極的な評価は3割強に止まる。
2. 「子ども手当」の使い道は「貯金」+「学資保険」が半数を超えた。
3. 「子ども手当」の満額支給(2万6000円)よりも、財源を他の子育て支援策に利用したほうがよいと思うママが7割を占めた。最も多かった希望は「保育園を整備し、待機児童を解消する」で、35人のママがあげた。

「支給されて、嬉しい」積極的な評価は32人

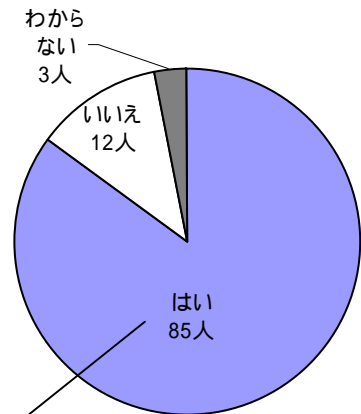
最初に、「子ども手当」をもらってよかったかどうか、「はい」「いいえ」で答えてもらいました。結果は、「はい」が85人、「いいえ」が12人、「わからない」が3人でした。ただし、「はい」と答えた中でも「助かりました」「ただで嬉しい」といった積極的に評価する声は32人とどまりました。反対に「よかったとは思いますが、仕事復帰する予定なので保育園を増やしてほしい」「もらうのはよかったが、将来の負担が心配」「得した感はあるが、税金などで持っていかれるので負担のほうが大かも」といった消極的な声を24人があげています。その他にも「入金されて、そのまま」「使っていないので、実感がない」が8人おり、「はい」と答えた中にも評価は分かれています。

一方、「いいえ」と答えた 12 人からは「疑問がある」「子ども手当がいつまで続くかわからない。他の支援策にあてたほうがよい」「正直って児童手当で十分」など、他の支援策にまわすべきといった声が目立ちました。「いいえ」と答えた 12 人中 5 人が現在育児休暇中でした。

「わからない」とした 3 名からは「複雑な気持ち。子どものために貯金するには額が少ない」「使われ方が問題。私たちの税金なので有効に使ってほしい」という声があがりました。

- ・ 積極的「はい」 32 人
- ・ コメントなし 21 人
- ・ 消極的「はい」 24 人
- ・ 実感なし 8 人

図1. 子ども手当をもらってよかったですか？(N=100)



使い道は貯金が半数

次に「子ども手当」を子どものために実際使ったかどうかを尋ねました。予定の人も含めて、「はい」が 78 人で、多数を占めました。具体的な使い道は貯金が 47 人、学資保険の 6 人を含めると実際に使った人の 7 割弱を占めています。他には、オムツ代 8 人、子どもの服と予防接種代がそれぞれ 6 人、ミルク代 5 人という結果でした。「まだ何に使うか決まっていない」「とりあえず貯金」という声が多く、子どもの年齢が低く、お金がかかる将来に備えてという以外にも、毎日の育児が忙しく、先のことを考える余裕もないといったママも多いのではないのでしょうか。

「いいえ」と答えたのは 22 人でしたが、「まだ使っていないし、今のところ使う予定もない」「まだ入金も確認していない」が「いいえ」の半数にあたる 11 人でした。「生活費と同じ口座に振り込まれるので、いつの間になくなった」「ちょうど夫の収入がダウンしたので、子どもを含めた生活費として使用した」が 8 人、「収入的には増えたので余裕がでた。子どもにひとつ習い事を始めたが、手当をそのまま使ったわけではない」というママもいました。

図2. 子ども手当は実際に子どものために使いましたか？(N=100)

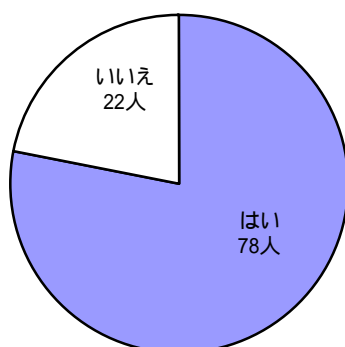
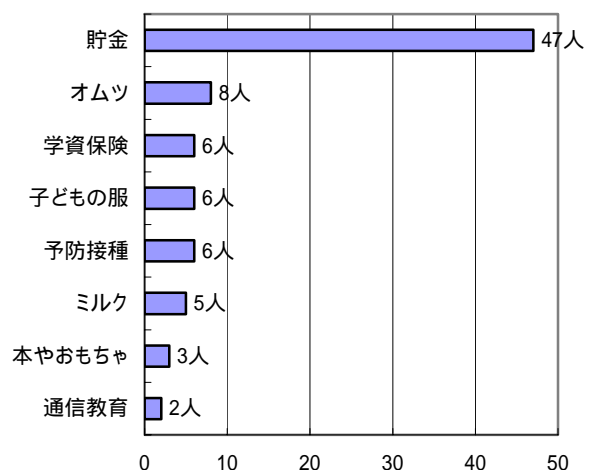


図3. 何に使いましたか？(複数回答N=78)



満額支給よりも支援策を

最後に、「手当の満額支給よりも他の子育て支援策に財源を利用したほうがよい」という意見について、どう思うかを聞いたところ、「そう思う」が70人、「思わない」が30人でした。

「そう思う」と答えたママたちには、さらに実施してほしい具体的な支援策をあげてもらいました。最も多かったのは、「保育所を整備し、待機児童を解消する」で35人のママがあげ、このうち25人が専業主婦でした。「1歳になったら仕事をしたい」「私や友人も働きたいと思っている」といった、再就職を希望する声も聞かれました。有職者からは「上の子のときは10ヵ月育児休暇がとれた

が、下の子は早く職場復帰しないと、空きを他の人に回さざるを得ないとプレッシャーを受け、しぶしぶ5ヵ月で復帰した」「職場復帰するのに困っている田舎にも目を向けてほしい。子どもが1歳になったら復帰(看護師)する予定だが、夜勤もあって子どもを預けるところがないと退職しなければならない」といった切実な声があがっています。次に多かったのは「任意の予防接種を無料化する(Hib、肺炎球菌、HPVを含む)」が10人で、「学校の無料化、教育費の負担削減」が7人でした。

一方、「思わない」と答えたママたちは「満額支給(2万6000円)を望む」12人と、満額希望以外の18人に分かれ

ます。「満額(2万6000円)を望む」12人は全員が専業主婦でした。中には「本当は働きたいが、保育所に申し込みをしても待機リストの最後になるので、仕事をしていない。現金をもらってベビーシッターにあてるほうがよい」というママもいました。

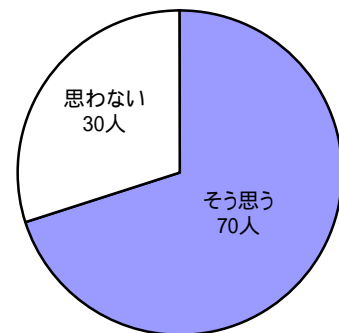
満額希望以外のママたちは「金額は今のままでよい」「支援策は働いている人を優先しているような気がする。専業主婦も平等に恩恵を受けられるように、個人支給のほうがよい」など、現状を支持する声があがりました。

将来のためにたくさん貯金しなくてすむように

昨年、子ども手当の支給を当て込んで、いろいろな商品やサービスが売り出されました。しかし、エンゼル110番のアンケート以外の調査結果でも、子ども手当の使い道は貯金が多くを占めているようです。「将来にそなえて、まだ使わず貯金している」「子ども手当が続くかどうか分からない」など、将来への不安が強いのでしょう。「後でつけがまわってくるのなら、子ども手当をもらわないほうがよい」という苛立ちの声もありました。また、「任意の予防接種を無料化しても、実現した頃にはうちの子は接種が終わっている」「財源を保育園の整備に当てるとしても時間がかかり、その恩恵にあずかれない」など、支援策の実現には時間がかかるとも感じています。

日本人は昔から「貯金好き」といわれていますが、1992年以降家計の貯蓄率は年々下がっています。これは、不況による収入の減少や、高齢者が貯蓄を取り崩して生活していることが要因と分析さ

図4. 手当の満額支給よりも他の子育て支援策に財源を利用したほうがよいという意見もきかれますが、どう思いますか？(N=100)



れています。そのような中でママたちが「貯金」したのは、まだ子どもが幼く将来を思い描きにくいのではないのでしょうか。「将来のためにたくさん貯金しなければと思わなくてすむようにしてほしい」という声は、ママたちだけではなく、国民の本音を代弁しているように感じました。

調査の概要

- 対 象 : 「エンゼル 110 番」に電話をいただいた子育て中のママ 100 人
調 査 方 法 : 電話による聞き取り調査
調 査 期 間 : 平成 22 年 7 月 12 日～平成 22 年 8 月 2 日
対象者の属性 : 「母親の年齢」 20 代...20 人、30 代...72 人、40 代...7 人、不明...1 人
「母親の職業」 有職...23 人(育休中 16 人)、無職...77 人
「子どもの年齢」6 ヶ月未満...21 人、1 歳未満...35 人、2 歳未満...20 人、
3 歳未満...5 人、3 歳以上...19 人
「居住地」 首都圏...62 人、首都圏以外...35 人、不明 3 名

[Hot Voice] *アンケートにお答えいただいたお一人お一人の声を集めました

【支援策いろいろ】

- ・ 出産までの援助を充実。(自分は違うが)不妊治療の補助。(ママ 36 歳 専業主婦 子 1 歳)
- ・ 町ごとに育児の専門家がいて相談にのってくれたり、すぐ自宅に来てくれたりするシステムがあるとよい。(ママ 37 歳 専業主婦 子 2 ヶ月)
- ・ 第 2 子を望んでいる。私の親が高齢で頼れないので、上の子ども一緒に入院できるような産後ケア施設を作ってほしい。(ママ 34 歳 専業主婦 子 2 歳)
- ・ 所得制限を設け、その分を老人介護や事情があって働けない低所得者層への手当にする。(ママ 36 歳 専業主婦 子 3 ヶ月)
- ・ 子どもよりも高齢者への年金などにお金がかかるので、そちらへ財源をまわす。(ママ 26 歳 育休中 子 7 歳・5 ヶ月)

【どちらが公平？】

- ・ 給食費など払わない人がいるのは不公平。現金支給では、子どものために使われるかがわからない。(ママ 34 歳 専業主婦 子 4 ヶ月)
- ・ 外国にいる子どもに支給しているのは、どうかと思う。(ママ 25 歳 専業主婦 子 8 ヶ月)
- ・ 子育てで広場や小児医療費補助の所得制限、任意接種の補助など、自治体によって格差がある。もっと均一のベースを作って、それにプラス してほしい。(ママ 35 歳 パート 子 1 歳)
- ・ 個人に支給されたほうが、それぞれ自由に使えるのでよいと思う。(ママ 34 歳 専業主婦 子 1 歳)
- ・ お金はありがたいが、減額しても保育園を作_らしてほしい。(ママ 31 歳 専業主婦 子 8 ヶ月)
- ・ 個人的には、子ども手当を貰って嬉しい。田舎なので、保育園の待機はない。(ママ 36 歳 専業主婦 子 11 歳・2 ヶ月双子)

エンゼル110番へのご相談

東京 03 - 3405 - 0110

大阪 06 - 6365 - 0110

相談時間:月曜日から土曜日まで(祝日・年末年始を除く)午前 10 時 ~ 午後 2 時

ホームページ:<http://www.angel110.jp/T>

妊娠中から就学前のお子さんのご相談におこたえます